



नमस्ते From India vol.1

☆青年海外協力隊☆ 平成27年度派遣 日本語教育 武藤愛

1.はじめに

なますて～！

岐阜県の皆さま、はじめまして。平成28年1月から、青年海外協力隊としてインドに派遣されています。2年間の任期中、インドでの活動やインド文化等を紹介したいと思います。

第一号は、簡単な自己紹介と、先日行われたインド三大祭りのうちの一つである「ホーリー」について紹介します。

☆自己紹介☆

名前：武藤 愛
出身：岐阜県瑞穂市
職業：日本語教師
趣味：スポーツ

外国人に日本の文化や日本語を教える仕事です。日本国内で2年と、海外(オーストラリア・ロシア)で4年教えていました。

「日本語を教える」というと、あまりピンと来ないかもしれませんが、日本でいう外国語(主に英語)の先生です。日本人が「国語」の授業で学ぶ国文法とは違って、外国人に教えるための日本語の文法があるんですよ！学習者の質問から、日本語について考えさせられる機会がとてもたくさんあって、面白いです。

2.「ホーリー」祭

3月24日は「ホーリー」という、春の訪れを祝うお祭りでした。以前は、豊作を祈願するお祭りだったようですが、現在は「色粉を使って遊ぶお祭り」として認識されている感じです。

ホーリー前日は夜になると、町のあちこちでたき火が見られます。そして、家にある小枝などをそこへ持って行って燃やします。小枝は悪霊の象徴だそうで、家の悪霊を追い払う意味があるそうです。この写真に写っている男性は、小枝を燃やしたあと、たき火の周りを何周かして、お祈りをした後、帰っていきました。お祈りは、枝を燃やす前でも、後でもいいそうです。



ホーリー当日は、朝から大変です。あらかじめ購入しておいた色粉や水鉄砲で水をかけ合います。(色粉はホーリー1~2週間前になると町のあちこちで売られます。)1年のうちで、このホーリーだけは身分など関係なく、色粉は誰にでもかけてもいいそうで、どんなことがあっても、「ホーリーだから！」という一言で許されます。自分が所属している会社の社長や、学校の先生にかけても、怒られないみたいです。



ホーリー休み前日、学生に塗られました。



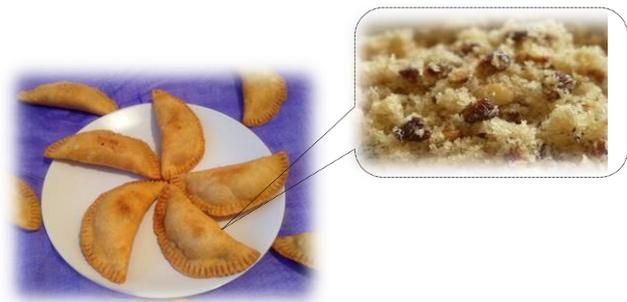
学生と一緒に記念撮影！



ホーリー当日の町中は、こんな人ばかりです。

町中を歩いている人、誰にでも水鉄砲で色水や粉をかけます。外国人は特に狙われやすいので、この時期のインド訪問は注意が必要です。

このホーリー、特別な食べ物もあります。**グジャ**というパイのお菓子で、中にはココナッツやドライフルーツが入っています。家庭やお店によって形も中身も違います。インドのお菓子は、甘すぎるほどのものが多いですが、このグジャはそこまで甘くなくて、おいしかったです。ホーリーの時期にインドに来ることがあれば、是非食べてみてくださいね！！



2. 最後に

第一号、本来ならば職場紹介などをするのだと思いますが、三大祭りのうちの1つであるホーリーがあったので、取り上げてみました。最後まで読んでいただきありがとうございます。インドについて質問などあれば、範囲内でおこたえますので、ご連絡ください。それでは、皆さま、なますて～！

武藤 愛

連絡先 : a.muto112★gmail.com (★を@に変換してください)